

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント  
 コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月9日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 中山 晴喜  
 (氏名) 中山 郁伸

TEL 03-5769-7447

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,347	0.2	△264	—	△300	—	△279	—
21年3月期第2四半期	4,341	—	△328	—	△307	—	△237	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	△2,396.20	—
21年3月期第2四半期	△2,818.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	6,743	1,499	22.2	12,290.32
21年3月期	7,835	2,379	29.4	27,362.99

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,499百万円 21年3月期 2,304百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,300	1.6	300	—	240	—	100	—	810.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 123,380株 21年3月期 84,480株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,380株 21年3月期 1,380株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 116,473株 21年3月期第2四半期 84,448株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における当社グループの連結業績は、売上高4,347百万円（前年同期比0.2%増）、営業損失264百万円（前年同期は営業損失328百万円）、経常損失300百万円（前年同期は経常損失307百万円）、第2四半期純損失279百万円（前年同期は純損失237百万円）となりました。

売上高は前年同期並みとなりましたが、音楽映像事業においてコンテンツ償却費や製造原価の圧縮により利益率が改善したことや、本社移転による家賃光熱費の削減等、本社費の圧縮が進んだこと等により、営業損失幅は前年同期と比較して改善いたしました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライセンス（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

音楽

平成21年上半年（平成21年1月～平成21年6月）における国内音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）の総生産金額は、前年同期比18.6%減の1,480億円となりました。有料音楽配信売上金額は、前年同期比0.8%減の446億円となり、2005年の統計調査開始以来初めての前年割れを記録しました。（社団法人日本レコード協会調べ）

このような状況下、当事業におきましては「プリキュア」シリーズの企画音楽が好調に推移した他、専属アーティスト「中河内雅貴」、「古川雄大」、「vistlip」の楽曲を中心に商品を編成いたしました。

映像

平成21年上半年（平成21年1月～平成21年6月）のDVDソフト市場は、販売用・レンタル用ともに減少し、前年同期比14.4%減の1,189億円となりました。一方で、ブルーレイの売上金額は、前年同期比286.8%増の84億円となりました。（社団法人 日本映像ソフト協会調べ）

このような状況下、映像事業におきましては、前期より引き続き「Yes!プリキュア5 GoGo!」、「遊☆戯☆王5D's」、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVD等の映像商品化を行った他、新たに「フレッシュプリキュア!」、「タユタマ」、「ジュエルペット」、「宙のまにまに」、「毎日かあさん」、昨年劇場公開した映画シリーズ「キラキラMOVIES」等の映像商品化を行いました。また、「タユタマ」では当社初となるDVDとブルーレイの同時発売を行い、主力コンテンツ「家庭教師ヒットマンREBORN!」においては初めてとなるDVD-BOXを発売し、受注が好調に推移いたしました。

映像ソフト市場の縮小に伴いDVDの受注が減少したこと、及び子会社のアートランドにおいてアニメーションの受託制作受注が減少したこと等により、前年同期と比較して売上は減少いたしました。一方で、出資映画作品等の配分収入が好調に推移したことや、コンテンツ償却費および製造原価の圧縮が進んだこと等により、利益におきましては前年同期と比較して増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における音楽映像事業の業績は、連結売上高1,608百万円（前年同期比9.7%減）、連結営業利益234百万円（前年同期比62.0%増）となりました。

## ②デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテイメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

平成21年上半年（平成21年1月～平成21年6月）のゲーム市場規模は、ハード市場が921億円（前年同期比27.6%減）、ソフト市場が1,267億円（前年同期比21.8%減）、合計で2,189億円（前年同期比24.4%減）となりました。前年同期と比較して大型タイトルが少なかったことや、「Wii」の市場がハード・ソフトともに前年同期を大きく下回ったこと等により、ハード市場、ソフト市場ともに前年割れとなりました。（株式会社エンターブレイン調べ）

このような状況下、国内においては、新作オリジナルタイトル「隴村正（Wii）」、「勇者30（PSP）」、著作権タイトル「家庭教師ヒットマンREBORN! バトルアリーナ2 スピリットバースト（PSP）」等13タイトルを発売しました。（前年同期は14タイトル発売）

英国子会社Rising Star Games Limitedにおいては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）、「Harvest Moon: Tree of Tranquility（Wii）」（邦題：牧場物語 やすらぎの樹）等7タイトルを発売しました。（前年同期は7タイトル発売）

米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc.においては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）、「VALHALLA KNIGHTS ELDAR SAGA（Wii）」等3タイトルを発売しました。（前年同期は発売タイトルなし）

ワールドワイド向けの大型タイトルの編成に伴い1タイトル当たりの制作費が増加する一方で、国内外におけるゲーム市場の縮小に伴い総出荷本数が軟調となったことや、海外市場においては予想を超える大幅な値引きが発生したことなどにより売上は微増に留まり、前年同期と比較して損失幅が拡大いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高1,981百万円（前年同期比1.7%増）、連結営業損失224百万円（前年同期は営業損失165百万円）となりました。

## ③舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興業ビジネスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、前期末に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Treasure Match 四天宝寺 feat. 氷帝」の後半公演、今期5月に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 6th」、今期7月から公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺」の前半公演、全102公演分の実績を計上いたしました。（前年同期は81公演分の実績計上）

前期末の公演において一部の地方公演で集客に苦戦したことが利益を圧迫いたしました。今期開催の公演においては観客動員数は順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における舞台公演事業の業績は、連結売上高758百万円（前年同期比23.9%増）、連結営業利益45百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は6,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加171百万円、売掛金の減少302百万円、映像コンテンツの増加12百万円、デジタルコンテンツの増加131百万円によるものです。

負債合計は5,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円減少しました。これは主に、買掛金の減少111百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少391百万円、短期借入金の増加302百万円によるものです。

純資産合計は1,499百万円となり、前連結会計年度に比べ207百万円増加しました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加499百万円、利益剰余金の減少279百万円によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、おおむね予想どおりに推移しているため、平成21年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

音楽映像事業については、引き続き主力の「プリキュア」シリーズ、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連作品や、新たなアニメ主幹事作品2作品等のDVD商品化、ブルーレイ商品化を計画しております。デジタルコンテンツ事業については、新作オリジナル作品や実績あるシリーズ「牧場物語」、「ルーンファクトリー」、「ルミナスアーク」等の続編、強力な著作権タイトル等主力コンテンツをラインナップしております。舞台公演事業については、10月に千秋楽を迎えた「ミュージカル『テニスの王子様』」夏公演の後半公演分の実績計上に加え、「ミュージカル『テニスの王子様』」の冬公演、前期に好評を博した「マグダラなマリア」の第2弾公演を予定しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、今後様々な要因によって実際の業績は予想数値と異なる場合がございます。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,280,758	1,109,020
売掛金	941,603	1,243,996
製品	—	54,419
商品及び製品	73,948	—
仕掛品	335,882	300,172
映像コンテンツ	165,765	153,466
デジタルコンテンツ	2,686,283	2,555,113
原材料及び貯蔵品	27,067	25,753
その他	328,690	476,733
貸倒引当金	△38,867	△47,769
流動資産合計	5,801,131	5,870,907
固定資産		
有形固定資産	219,562	187,204
無形固定資産		
のれん	48,209	64,279
その他	72,295	86,670
無形固定資産合計	120,505	150,949
投資その他の資産	602,344	522,753
固定資産合計	942,412	860,906
資産合計	6,743,544	6,731,813
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	707,048	818,345
短期借入金	2,583,847	2,281,840
1年内返済予定の長期借入金	8,004	400,000
未払法人税等	17,192	6,248
賞与引当金	66,207	63,717
返品調整引当金	6,331	27,305
その他	1,777,668	1,833,712
流動負債合計	5,166,301	5,431,170
固定負債		
長期借入金	69,995	—
その他	7,829	8,967
固定負債合計	77,824	8,967
負債合計	5,244,125	5,440,138
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,128,472	878,539
資本剰余金	1,129,991	880,059
利益剰余金	△688,798	△409,705
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	1,541,939	1,321,167
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△42,520	△44,421
評価・換算差額等合計	△42,520	△44,421
少数株主持分	—	14,929
純資産合計	1,499,418	1,291,675
負債純資産合計	6,743,544	6,731,813

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,341,187	4,347,851
売上原価	3,298,746	3,357,491
売上総利益	1,042,441	990,360
従業員給料及び賞与	253,620	226,797
賞与引当金繰入額	61,223	51,170
広告宣伝費	484,021	491,752
その他	572,462	485,391
販売費及び一般管理費合計	1,371,328	1,255,111
営業損失(△)	△328,887	△264,751
営業外収益	49,304	1,325
営業外費用		
支払利息	26,605	24,053
為替差損	—	10,025
その他	1,040	3,437
営業外費用合計	27,646	37,517
経常損失(△)	△307,228	△300,942
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19,130	9,291
その他	1,187	204
特別利益合計	20,318	9,495
特別損失		
固定資産除却損	—	3,929
特別損失合計	—	3,929
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,910	△295,377
法人税、住民税及び事業税	1,540	1,625
少数株主損失(△)	△50,451	△17,910
四半期純損失(△)	△237,998	△279,092



【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,700,259	2,272,297
売上原価	2,044,645	1,837,262
売上総利益	655,613	435,035
従業員給料及び賞与	135,269	105,322
賞与引当金繰入額	31,198	29,062
広告宣伝費	250,418	174,684
その他	281,695	221,959
販売費及び一般管理費合計	698,582	531,028
営業損失(△)	△42,969	△95,992
営業外収益	1,247	768
営業外費用		
支払利息	14,722	12,276
為替差損	—	6,599
その他	900	4
営業外費用合計	15,622	18,881
経常損失(△)	△57,345	△114,106
特別利益		
固定資産売却益	1,187	204
貸倒引当金戻入額	873	△2,573
特別利益合計	2,061	△2,369
特別損失		
固定資産除却損	—	3,929
特別損失合計	—	3,929
税金等調整前四半期純損失(△)	△55,283	△120,405
法人税、住民税及び事業税	877	872
少数株主損失(△)	△4,856	△3,180
四半期純損失(△)	△51,304	△118,097

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,910	△295,377
減価償却費	58,576	58,980
映像コンテンツ償却額	357,221	263,835
のれん償却額	16,069	16,069
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,865	2,490
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,130	△9,291
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,797	△20,917
受取利息及び受取配当金	△526	△47
支払利息	26,605	24,053
固定資産売却損益(△は益)	—	△204
固定資産除却損	—	3,929
売上債権の増減額(△は増加)	758,214	292,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,212,314	△454,533
仕入債務の増減額(△は減少)	△507,249	△101,904
未払金の増減額(△は減少)	△351,486	9,207
未払印税の増減額(△は減少)	△143,707	△65,837
未払消費税等の増減額(△は減少)	△18,335	△7,253
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△188,107	114,627
その他の流動負債の増減額(△は減少)	400,753	△30,758
その他	—	△3,050
小計	△1,117,394	△203,904
利息及び配当金の受取額	526	47
利息の支払額	△28,417	△20,547
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△159,374	56,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,304,660	△167,834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△43,581	△33,153
有形固定資産の売却による収入	10,285	3,500
無形固定資産の取得による支出	△35,501	△6,075
敷金及び保証金の差入による支出	—	△88,347
敷金及び保証金の回収による収入	—	640
貸付けによる支出	△1,060	△1,900
貸付金の回収による収入	500	1,660
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,358	△123,677
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,018,102	2,370,432
短期借入金の返済による支出	△815,191	△2,074,869
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△24,053	△402,001
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△114	△1,307
株式の発行による収入	—	499,865
配当金の支払額	△62,250	△204
自己株式の取得による支出	△5,404	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,111,087	471,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	28,697	△8,665
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△234,233	171,737
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,636	1,109,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,100,402	1,280,758

(4) 継続企業の前提に関する事項

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,781,235	1,948,063	611,889	4,341,187	—	4,341,187
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,912	—	—	6,912	(6,912)	—
計	1,788,147	1,948,063	611,889	4,348,099	(6,912)	4,341,187
営業利益又は営業損失(△)	144,967	△165,938	73,590	52,619	(381,506)	△328,887

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
 2 各事業の主な製品又は事業の内容  
 (1) 音楽映像事業……………DVD、音楽CD、音楽原盤制作等  
 (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト  
 (3) 舞台公演事業……………舞台公演

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,608,304	1,981,324	758,222	4,347,851	—	4,347,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,341	—	—	3,341	(3,341)	—
計	1,611,645	1,981,324	758,222	4,351,192	(3,341)	4,347,851
営業利益又は営業損失(△)	234,904	△224,473	45,226	55,658	(320,409)	△264,751

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。  
 2 各事業の主な製品又は事業の内容  
 (1) 音楽映像事業……………DVD、音楽CD、音楽原盤制作等  
 (2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト  
 (3) 舞台公演事業……………舞台公演

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,976,163	365,023	—	4,341,187	—	4,341,187
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,046	—	—	6,046	(6,046)	—
計	3,982,209	365,023	—	4,347,233	(6,046)	4,341,187
営業利益又は営業損失(△)	123,278	△51,158	△13,404	58,715	(387,603)	△328,887

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,877,147	422,971	47,732	4,347,851	—	4,347,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	150,098	—	—	150,098	(150,098)	—
計	4,027,246	422,971	47,732	4,497,949	(150,098)	4,347,851
営業利益又は営業損失(△)	158,634	△79,190	△16,904	62,540	(327,291)	△264,751

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	355,676	52,130	16,933	25,843	450,583
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,341,187
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.2	1.2	0.4	0.6	10.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ

(2) 北米……アメリカ

(3) アジア……韓国、フィリピン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	474,293	202,549	11,266	60,199	748,308
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,347,851
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.9	4.7	0.3	1.4	17.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ、イタリア

(2) 北米……アメリカ

(3) アジア……韓国、台湾

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

株主資本等関係

当第2四半期連結会計(累計)期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結累計期間末
普通株式(株)	123,380

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結累計期間末
普通株式(株)	1,380

3 新株予約権等に関する事項

会社法施行日以前に付与したストック・オプションにつき、該当事項はありません。

4 配当に関する事項

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年4月27日付で、当社代表取締役社長中山晴喜から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が249,932千円、資本準備金が249,932千円増加し、当第2四半期連結累計期間末において資本金が1,128,472千円、資本剰余金が1,129,991千円となっております。